

元奨学生の「今」

これから、私も子どもたちにその機会を与える側の人になりたいと思います。

名前:ダオルアン・サワンセーンさん

本籍:ヤソートン県

学歴:Ubonratchathani Rajabhat 大学人文学部卒(英語専攻)

現在の職業:ヤソートン県のバーンノンチュムセーン小中学校の英語教師

趣味:読書、音楽を聴くこと、木を植えること

中学生のときに奨学金を提供いただいた支援者の方がどうしておられるのかをEDFに問い合わせてきた元奨学生のダオルアン・サワンセーンさんの手紙をご紹介します。現在タイ東北地方ヤソートン県の小中学校の英語の先生をしています。



中学校1年生の時



大学を卒業したとき

私はダオルアン・サワンセーンと申します。現在ヤソートン県パーティウ郡コックナーコー町にあるバーンノンチュムセーン小中学校で英語の教師をしています。私は、ヤソートン県カムクアンケオ郡トゥンモン町にあるバーンマプリック校の中学生だった1995-1997年のときに3年間EDF財団を通じて奨学金をいただきました。そのときは高校に進学したいという気持ちを強く持っていたので、中学生のときに使う費用を我慢して、戴いた3年間の奨学金の殆どを貯金しました。そして、中学校を卒業して、郡の有名なカムクアンケオチャヌーパタムという高校に進学する夢が叶いました。貯金しておいた奨学金は全て高校の授業料に使いました。そのときのEDFの奨学金がな

ければ、高校の授業料は支払えず、途中で高校を辞めていたと思います。この奨学金を得たことがいかに私に素晴らしい機会を与えてくれたのかを考えますと感謝の気持ちでいっぱいになります。高校を卒業して、ウボンラーチャターニー県にあるウボンラーチャターニー・ラジャパット大学で英語を専攻しました。そのときも外部の奨学金と政府提供の学資ローンで授業料や生活費を補填しました。大学生活にかかる費用は多いですから、夏休みなど学校の長い休みのときにはアルバイトをしていました。



学生の家庭を下調べに行ったとき

2005年に学士課程を首席で卒業しました。遠

いところで働くよりも、自分が生まれ育った地元に貢献したいと思い、教員採用試験を受けることを決めました。公務員として私が生まれたヤソートン県の小中学校で英語を教えるもう15年になります。現在、通常の教える仕事以外、EDFの奨学金担当としての役割を果たす機会も得てとても光栄に思っています。奨学生に選ばれる前に学生の家庭を下調べに行くのですが、その時はいつも自分が小さかった頃を懐かしく思い出します。昔私が得たような機会を家庭の状況が良くない全ての子どもたちが同じように得られることが出来るようにと願っています。一方、私もその機会を与える側の人になれるのではないかと思います。昨年からEDFを通じて寄付をさせていただくことにしました。これからも引き続き支援を継続していきたいと思っています。

最後に、まだ、お目にかかったこともありませんが、私と私の家族の為に奨学金を支援してくださった「ヤマノ・クニコ様」にとても感謝しております。タイのごく地方の一人の子供に教育の機会を与えてくださり本当にありがとうございました。そのご支援のお蔭で今の私があります。また、タイの子どもたちに今まで教育機会を提供して下さった全ての支援者の皆様、EDFのスタッフの皆様に、益々のご幸福とご活躍をお祈りします。

心からの感謝をこめて
ダオルアン・サワンセーン

新年度2021年度の奨学金募金活動は既に開始しています。新規中学生、高校生共、その奨学金の募集期間は2021年5月31までです。ご友人、知人へのご紹介、皆様ご自身のご支援も含め、新年度も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

LINE Official 公開のお知らせ

支援者・協力者の皆様とのより速く便利なコミュニケーションのために、EDFのLINE Official Account を改めて公開させていただきたく思います。下記のQRコードをスキャンし、友だち登録いただくと、LINEで申込書・振込依頼書をご提出いただくことが可能です。また、日本語、英語、タイ語でのご質問にお答えすることも出来ますので、是非ご利用ください。



The graphic features the Line Official Account logo on the left, which includes a shield with a white 'L' on a black background. To the right of the logo, the text 'Line Official Account' is written in white. Below this, it says 'Search Line ID @EDFTHAI or scan this QR Code'. A large QR code is positioned below the text. On the right side of the graphic, a smartphone is shown displaying the 'Friend search' interface for the user '@edfthai'. The phone screen shows the EDF logo and the text 'มูลนิธิ EDF is already your friend.' with a 'Chat' button. A small cartoon bear character is at the bottom of the phone screen, appearing to be holding it.

他に、下記のようなソーシャルメディアもありますのでフォローをお願い申し上げます。



Facebook : EDF Thailand



Twitter : EDF-Thailand



Instagram : edfthailand

活動報告・お知らせ



2020年度の実績報告

Covid-19の影響を受けた方々も少なくないと思いますが、そんな状況の中、2020年度(2019年6月～2020年6月)はタイの子どもたちへの教育機会提供支援に関し、皆様より様々な面で大変お世話になり、どうもありがとうございます。

2020年度募金活動の実績は、昨年度よりやや減少し7,729人分(昨年度7,977人分)でした。(この内、奨学生を指定されないEタイプは514,450.25パーツで募金箱からは566,841.50パーツでした。)

なお、今年度の奨学生証書などの送付に就きましては以前お知らせ致しました通り、Covid-19対策により、奨学生の最終的な通学の確認や奨学金の振込み等の手続は、例年より1カ月ほど遅れます。このため、ご支援戴いた方々への奨学生証書と写真などの発送は2020年9月からとなります。色々とお不便をおかけ致しますが、何卒ご理解戴きますようお願い申し上げます。



自動販売機設置による2020年度の募金実績

Covid-19の影響を受け日本自動販売機会社のAOC社のご協力により、同社の自動販売機をタイにある会社の事務所や工場に設置いただくことにより、従業員の飲み物やスナックなどの購入が、「ダルニー奨学

金」へのご寄付に繋がります。この方法により2020年度に、ご協力いただいている9カ所の設置場所からの販売品数は合計64,868個、その結果ダルニー奨学金へのご寄付は15,670.90パーツとなりました。これにより今年度中学に進学した2人の学生に奨学金を提供することができました。また、今年はより多くの皆様方にこのような方法でのご支援をお願い致したく考えております。会社事務所、工場、アパート、商店街等、どのような場所でも大歓迎です。ご興味をお持ち戴ける方は、お気軽にEDF までお問い合わせください。

The Education for Development Foundation (EDF)

50, Kasetsart University Alumni Bldg., Phaholyothin Rd., Ladyao Jatujak, Bangkok 10900

Tel. 0-2579-9209-11 (タイ語) 0-2942-8538 (日本語) Fax. 0-2940-5266

Email: public@edfthai.org URL: www.edfthai.org/jp

公益財団法人 民際センター (EDF-JAPAN)

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-6-13 山三ビル7F

TEL: 03-6457-5782 FAX: 03-6457-5783

Email: info@minsai.org URL: www.minsai.org